

伝統工芸「加飾紙」の新たな挑戦 金箔とガラスが織りなす美しいお皿やインテリア



加飾紙の製造・販売を手がける有限会社湯島アートは、[2021年7月28日\(水\)](#) 10:00から
[9月29日\(水\)](#)

18:00まで、Makuakeに挑戦します。企画とデザインを手がけるオクノテ（東京都墨田区、代表：清水覚）は、異素材への加飾をテーマに同社と共同開発に取り組み、今回のプロジェクトにて、ガラスに砂子（すなご）加飾を行った「砂子硝子」をリターンとして提供いたします。

■プロジェクトページ ([2021年7月28日](#) 10:00 公開)



<https://www.makuake.com/project/yushima-art/>

■実行者紹介

有限会社湯島アート

湯島アートは襖紙おろし問屋各社さまからのご依頼による原紙柄付け加工、意匠開発を主たる事業としております。また、江戸で育まれてきた金銀砂子細工などの和紙加飾技法を土台として、新たな技術の開発とその製品化に取り組んでいます。

<https://yushima-art.co.jp/>

商品開発協力：片岡屏風店／片岡孝斗

片岡屏風店の創業は1946年。以来、現在に至るまで、東京都墨田区にて、節句用、ホテル・式場用、装飾用など屏風を専門に製造・販売しています。今では着物や写真、絵画などを屏風に仕立てる「オーダー屏風」も手掛けており、さまざまなクリエイターからも支持されている職人の一人です。

<https://www.byoubu.co.jp/>

実施協力：オクノテ

1987年東京都生まれ。上智大学物理学科を卒業後、多摩美術大学に再入学し、情報デザインを学ぶ。外資系広告代理店を経て、2017年からインターネットメディアに在籍し、現在は自社のブラ

ンディング業務に携わる。2019年から、複業活動として、企画とデザインを提供する個人事業「
オクノテ」を開業。

<https://www.okunote.tokyo/>

Generated by ふれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>